

あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



仲良く安全に公園で遊ぶために必要な ルールやマナーを身につけましょう

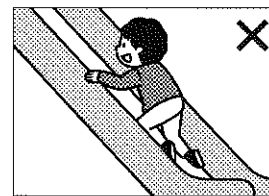
いつもの友だちや、初めて出会う子など、たくさんの子どもたちが集まる公園は、人間が社会生活を送るうえで必要な対人関係や協調性を育む場所でもあります。正しく安全な遊具の使い方を教えるとともに、みんなで仲良く遊ぶことの大切さを伝えていきましょう。

すべりだいの あそびかた

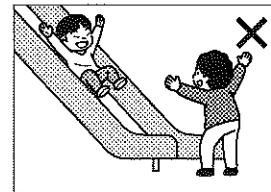
すべりだいでは ひとりずつ じゅんばんに すべろうね。



うえて ふざけたり
のりだしたり しない。



ぎやくむきに
のぼらない。



でぐちの まえで
たちどまらない。

保護者の方へ 滑り台やブランコは公園遊具の代表的なものですが、皆さんが普段利用される公園には、ほかにどんな遊具があるでしょうか。どの遊具でも、間違った遊び方をしていたら、大事故につながります。それぞれの遊具の安全な遊び方を教え、子どもが危険な行為をしていたら、すぐにやめさせるようにしましょう。

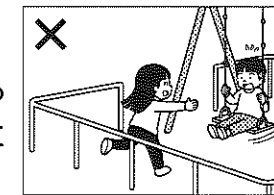
ぶらんこの あそびかた

くさをりを しっかり りょうてで つかみ すわって のろうね。

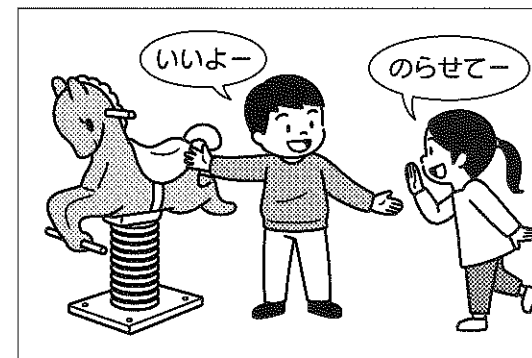


たったまま のったり
ふたりのりは しない。

のって いる こが いる
ときは さくの うちがわに
はいらない。



みんなで なかよく あそぼうね



じゅんばんに こうたいで
あそぼうね。



ぶつけて しまった ときは
すぐに あやまろうね。

保護者の方へ 公園で遊ぶのは、自分だけではありません。子どもたちが遊びを通して、他人を思いやる心や、譲り合いの精神を身につけていけるようにしましょう。

6月号では「雷の時の注意」について
取り上げます。